

地球にやさしい“ふくしま”宣言の改定について（案）

1 改定の方向性（案）

地球にやさしい“ふくしま”県民会議構成団体等に対して実施したアンケートから得られた、盛り込むべき考え方やキーワードなどを踏まえて検討。

- 現行の宣言を活かしつつ、家庭や職場等ごとに取り組むべき内容を整理
- 脱炭素社会の実現、SDG s等の社会情勢を踏まえて見直し
- 分かりやすい文言に見直し

※ 盛り込むべき考え方・キーワード

地球にやさしい“ふくしま”県民会議構成団体等を対象としたアンケート調査で意見の多かったもの。

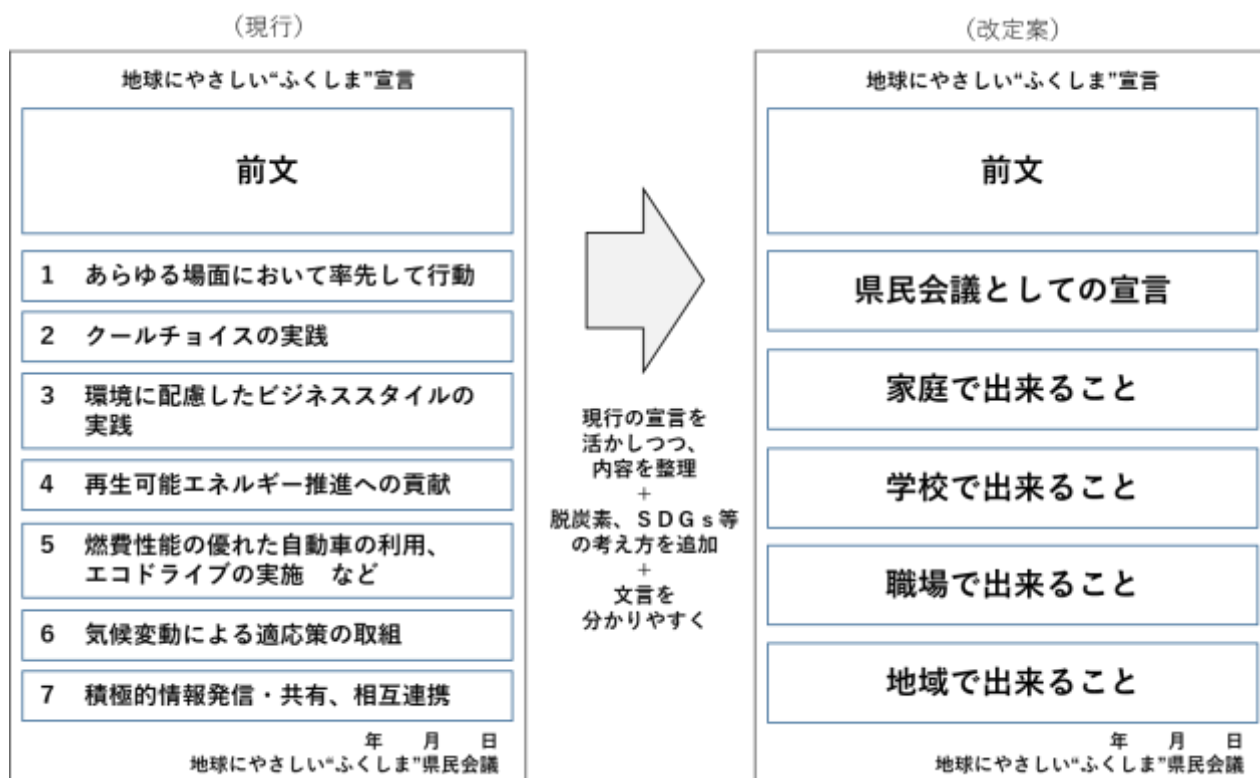
<考え方>

- 一人一人の行動につながる平易でポジティブな言葉へ
- 家庭で取り組める内容も盛り込んで欲しい
- 企業、教育現場、団体、個人などに分けした方が分かりやすい

<キーワード>

- 県民一人一人の意識向上
- 3R（ものを大切にする）
- 脱炭素
- SDG s
- できることから始める

2 改定のイメージ（案）



地球にやさしい“ふくしま”宣言（改定案）

地球温暖化とそれに伴う気候変動は、人類の存続にも関わる深刻な環境問題の一つであり、その対策は喫緊の課題となっています。

この温暖化等がもたらす危機を回避するためには、脱炭素社会の実現に向けて、二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの削減（緩和策）に全力で取り組むとともに、気候変動による被害を回避・低減するための取組（適応策）を着実に推進することが重要です。

私たち一人一人がこの課題を自らのこととして捉え、家庭や学校、職場、地域において、できる限りの取組を行うことが今まさに求められています。

私たち、地球にやさしい“ふくしま”県民会議は、福島の恵み豊かな環境を保全し、環境への負荷の少ない持続可能な社会を目指して、SDGsの理念も踏まえながら、以下の活動に取り組むことを宣言します。

- 1 私たちは、地球温暖化対策を自らの課題として真剣に捉え、省エネルギー・省資源の徹底や再生可能エネルギーの最大限の活用、気候変動がもたらす影響への適応策の実践など、あらゆる場面で率先して行動します。
- 2 私たちは、地球温暖化対策に関する最新の情報を積極的に発信・共有し、環境への理解を深めるとともに、あらゆる主体と相互に連携しながら、県民総ぐるみで福島の恵み豊かな環境を守り未来につないでいく活動に取り組みます。

<家庭での取組>

省エネルギー機器への買換えや公共交通機関の利用、エコドライブなど地球温暖化対策に資するあらゆる賢い選択を促す取組である「COOL CHOICE」や、ごみ削減、リサイクルなどを積極的に実践し、環境負荷を低減するライフスタイルの実現を目指します。

<学校での取組>

地球温暖化問題について、「なぜそうなっているのか」「自分にできることは何か」といった人と環境との関わりを自発的に学習し、一人一人が自らのこととして捉え、様々な主体と連携して行動することにより、持続可能な福島の創造に取り組みます。

<職場での取組>

製品・サービスのライフサイクルを通じた環境負荷の低減を図るなど、効果的・効率的な地球温暖化対策を幅広い分野で自主的かつ積極的に実践するとともに、気候変動による様々な変化に備えた取組を進め、環境と経済に配慮した持続可能なビジネススタイルを実践します。

<地域での取組>

地域の環境保全活動や勉強会などの開催・参加により、地球温暖化問題への理解を深め、持続可能な脱炭素社会や地域循環共生圏^{*}の実現を目指すとともに、地域の魅力や価値を次の世代につなぎます。

※ 各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補充し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方

年 月 日

地球にやさしい“ふくしま”県民会議